



議会だより

いね

令和8年7月23日

第110号



議会だよりはこのQRコード
からご覧いただけます。

町民の命と暮らしを守る

6月定例会

■ 令和8年度一般会計補正予算	2
■ 専決処分 他	3
■ 町政を問う 一般質問(3人が質問)	6
■ 委員会報告	7
■ 玉手箱	8
■ 編集後記	8

伊根町消防団夏季訓練

令和8年 第2回 定例会

6月4日から30日の間で開かれ、諸般の報告・行政報告、令和7年度専決補正予算1件、令和8年度補正予算2件、条例制定等8件、その他16件について審議しました。

令和8年度伊根町一般会計第1回補正予算

歳入歳出予算総額に、それぞれ6,681千円を追加し、4,018,681千円とする。

〈全員賛成で可決〉

【主な補正予算の内容】

○公職選挙法施行令の一部改正により公営に要する経費に係る限度額が引き上げ 1,322千円

○菅野地区墓参道原材料料費等補助金 459千円



[改修される菅野地区墓参道]

○観光協会補助金（ふなやん着ぐるみ更新） 1,300千円



[ふなやん着ぐるみ更新]

○伊根花火補助金（キリンビール「晴れ風ACTION」支援） 500千円



[今年は8月29日開催!! 伊根花火]

令和8年度伊根町一般会計第2回補正予算

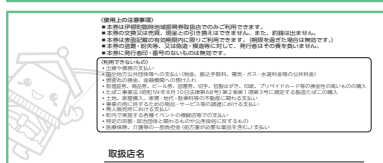
〈全員賛成で可決〉

歳入歳出予算総額に、それぞれ5,479千円を追加し、4,024,160千円とする。

【主な補正予算の内容】

○地域振興券発行业 5,479千円

1名あたり2万円の地域振興券を追加発行



[伊根町臨時地域振興券]

令和8年度伊根町国民健康保険特別会計第1回補正予算

〈全員賛成で可決〉

国民健康保険事業勘定

歳入歳出予算総額に、それぞれ2,692千円を追加し、382,366千円とする。

【主な補正予算の内容】

新型コロナウイルスの予防接種負担軽減のための給付 1,359千円

伊根診療所勘定

歳入歳出予算総額に、13,133千円を追加し、145,540千円とする。

【主な補正予算の内容】

歯科ユニット購入

4,000千円



[更新される歯科ユニット]

ワクチン接種医薬材料費

8,833千円

問

当初予算で新型コロナウイルスワクチン接種費用を計上しなかったのはなぜか。

答

被保険者数を把握できなかったことによるが、当初予算で計上すべきであった。

専決処分

〈全て全員賛成で承認〉

令和7年度伊根町一般会計第8回補正予算

歳入歳出予算総額に、それぞれ119,768千円を追加し、4,315,151千円とする。

【主な補正予算の内容】

地方交付税（特別交付税）

179,150千円

きょうと地域連携交付金

39,147千円

跡地活用事業の不用額を減額し、

一般財源の余裕分を減債基金に積み立てるもの

119,768千円

伊根町介護保険条例の一部改正

【提案理由】

介護保険法施行令の一部を改正する政令が施行されることに伴う所要の改正。

伊根町国民健康保険税条例の一部改正

【提案理由】

国民健康保険法施行令及び国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令の一部を改正する政令が施行されることに伴う所要の改正。

伊根町町税条例の一部改正

【提案理由】

地方税法等の一部を改正する法律が施行されることに伴う改正。

条例の制定及び改正

伊根町放任果樹伐採事業分担金徴収条例の制定について

【提案理由】

ツキノワグマの誘因となる放任果樹の伐採事業に要する経費の一部を、受益者から分担金として徴収するための条例制定。

〈全員賛成で可決〉



〔町中に出没するツキノワグマ〕

※写真はイメージです

伊根町議会議員及び伊根町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

【提案理由】

公職選挙法施行令の一部改正により、選挙運動用ポスター等の作成の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことに伴う改正。
ポスター 1枚 4,351円から5,771円に改正。

〈賛成多数で可決〉

伊根町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

【提案理由】

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴う改正。

〈全員賛成で可決〉

伊根町国民健康保険税条例の一部改正について

【提案理由】

町民税の決定に伴い、賦課目標額に必要な乗率算定を行い、所要の改正を行う改正。

〈全員賛成で可決〉



その他の議案

〈全て全員賛成で可決〉

令和7年度伊根漁港水産物供給基盤機能保全工事その2
請負契約の締結について

【提案理由】

機能保全計画に基づき、大浦第1岸壁工事を本年度も継続して行うもの。

【契約金額】 61,600,000円

【契約の相手】 宋徳建設株式会社 代表取締役 安田 洋一

令和8年度伊根漁港海岸保全施設整備工事
請負契約の締結について

【提案理由】

高梨地区内の護岸工事（工事延長24.3m）を本年度も継続して行うもの。

【契約金額】 50,380,000円

【契約の相手】 金下建設株式会社 代表取締役社長 金下 昌司

京都地方税機構規約の変更について

【提案理由】

令和8年度税制改正により、京都地方税機構が処理する事務から自動車税及び軽自動車税の環境性能割を廃止することについて、京都府及び京都市を除く福知山市ほか23市町村と協議するため。

農業委員会委員の任命について

【提案理由】

令和8年7月19日をもって満了となるため。

山口忠司氏、大西一彰氏、上岡治之輔氏、涌田源次郎氏、小中正二郎氏、上野清氏、川村美紀氏、須川清広氏、上野正氏、大江潔氏、大下公明氏を任命。

財産の取得について

〈多機能型小型動力ポンプ付積載車〉

【提案理由】

第1分団第3部（大原消防車庫）の積載車（軽自動車タイプ）の更新。

【契約金額】 9,075,000円

【契約の相手】 大槻ポンプ工業株式会社
宮津営業所 所長 倉 慎平

【取得財産】 多機能型小型動力ポンプ付積載車



〈クライアント端末〉

【提案理由】

役場業務用パソコン37台の更新。

【契約金額】 6,653,900円

【契約の相手】 株式会社堀通信 代表取締役 小嶋英昭

【取得財産】 ノートパソコン 27台
デスクトップパソコン 10台

町政を問う

3人の議員が一般質問

一般質問の
動画配信を行っています。



Q 小水力発電で地域振興を

A 筒川は小水力発電に適さず、事業化の目途はない

問 「地球沸騰化」時代に突入した今、エネルギー転換、CO2排出削減と計画の策定を、町民参加、若者参加ですすめ、気候危機の打開を大きなところからだけでなく、小さなところからもそれぞれが進めていく必要がある。輸入価格の高騰がエネルギー自給率10%

の日本経済を翻弄しているが、地域が主体となつて開発・運営し、ゾーニングなどの乱開発防止のルールを決め、住民の合意と協力で、地域に利益を還元する再生可能エネルギーの開発・導入が今求められている。落差があり豊富な筒川の水を利用したダムを必要とし

ない小水力発電の検討、導入で筒川本庄地域での、雇用、経済など地域振興の柱の一つ、再生可能エネルギーの里として位置づける事の意義は大きい。さらにマイクロ水力を至る所で活用するなどして地域活性化の展望もある。筒川を利用し



大谷 功 議員

た小水力発電事業地域振興の柱の一つとして検討研究することについて町長の見解を伺う。

答 町長 水力発電については、令和元年度の「伊根町エネルギービジョン策定基礎調査」で、小水力発電に関する調査を行った。

結果は、「小水力発電に有望な河川や水路は、町内には見当たらない。」というものの。伊根町の最大の河川である筒川でも、小水力発電、千kWの発電施設には適さないというもの。筒川の落差、水量では小



【黒土川発電所】
出力約39.6kWの小規模水力発電所

水力発電にも適さず、事業化の目途はないというもの。この結果から、質問の「筒川を利用した水力発電の検討」は、既に検討済みであり、事業化の検討も必要性はないと思う。

Q 非核平和都市宣言の精神の継続を

A 核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて行動する

問 伊根町議会は平成元年9月27日、「非核平和都市宣言」を決議した。核兵器廃絶と恒久平和の実現に向け、町としてどのように取り組み、決議の精神を次世代へ継承していくのか。

らは、核兵器根絶と恒久平和の実現に向けて行動する意思表示である。

行政としては、核兵器のない世界を願うキャラバン隊への協力、学校教育や生涯学習での平和学習、写真パ

答 町は平成27年2月に平和首長会議へ加盟し、平成29年にはヒバクシャ国際署名にも賛同した。これ

ネル展示、戦没者慰霊祭などを通じ、平和を大切にする意識を町民の日常に根付かせ、次世代へ継承してい



山根 朝子 議員

く。志を同じくする自治体とも連携し、核兵器廃絶に向け声を挙げていきたい。伊根町議会でも行動される

ときは行政にもご一報ください。協力して頑張りましょう。

Q 平和教育を

どう進めるか

問 沖縄県辺野古沖での事故により、平和教育が萎縮

していくのではないかと危惧している。政治的中立性を保ちながら、子どもたちが自ら考え、判断できる平和教育をどう位置づけるか。また、教員が萎縮せず、安心して教育に取り組める環境を、教育委員会としてどう守っていくのか。

編成して進めている。平和教育については、子どもたちの健やかなる成長のために、法に従って教育実践を行う学校現場や教員が委縮する必要は全くないと考えている。



【国民平和行進出発式】

答 (教育長) 平和に関する取り組みは、政治的教養や国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる上で、欠かせない重要な学習領域である。道徳や、総合的な学習の時間など教科外指導において、児童生徒の発達段階に応じた内容を適切に



委員会報告

総務委員会

● 令和8年6月4日

- ・今後の取組みについて協議した。
- ・介護サービスに関わる質問事項について協議した。

● 令和8年6月30日

- ・介護サービスの現状について保健福祉課より説明を受けた。

産業建設委員会

● 令和8年6月4日

- ・今後の取組み（空飛ぶクルマ）について協議した。また、伊根町放任果樹伐採事業分担金徴収条例について、さらに研究を行うため、次回、地域整備課長から説明を受けることとした。

● 令和8年7月9日

- ・兵庫県豊岡市市長公室経営企画課担当様からZoomにより「空飛ぶクルマ」について説明いただいた。その後、地域整備課長から伊根町放任果樹伐採事業分担金徴収条例について、詳細な内容の説明を受けた。



水道スマートメーターについて

導入検討を行う必要がある



上 辻 亨 議員

問 水道スマートメーターとは、検針員が各家庭の水道メーターを確認するかわりに無線などを利用して水道データを自動的に水道局に送信できる装置であり、当町では大雪等で検針員が検針できない場合どのようなしているのか。水道スマートメーターは漏水の早期

発見、高齢者の見守り機能として、一定期間、水の使えない場合にアラートを発するなど高齢者の見守り機能や安否確認に活用できると聞く。当町では検針員の不足や高齢化等により今後、確保難が懸念される。業務の効率化等も考え与謝野町のように当町でも実証

答 実験を考えてみてはどうか。当町では、スマートメーターを含むDX技術については京都府水道事業広域的連携推進協議会等で情報共有を図っており、与謝野町のスマートメーター実証実験についても情報を受けている。大雪で確認できなかった場合の検針は、前回

の使用量を元に当期分の請求を行っている。当町では現在1,300件にメーターが使用、その件数で費用を換算すると2,600万円の追加費用を要する、漏水の早期発見や使用量のピークの把握による効率的な運営、高齢者の見守りなど付加価値も含めた費用対効果により検討することになると考える。実際にスマートメーターを導入するかどうかについては、従来の検針業務に対する費用対効果は低いと判断している。しか

し、今後の当町の水道経営において、検針員の確保が困難になるといった問題やシステムの高度化といったメリットが見込まれるようなときは、改めて導入検討を行う必要があると考える。



〔水道スマートメーター〕



水産会社の若者が 農家負担軽減に向けた取り組み

伊根町農村RMO推進会議

会長 小原 澄晴

近年、全国的に一次産業を取り巻く環境は厳しく、全国的に人材不足が深刻化しています。

今回は農業について紹介します。農家さんは良質米を収穫するために、夏場を迎え危険な暑さが毎日のように続く中でも、気温30度を超える中でも、カメムシや害虫防止のため、田んぼの草刈りをしなければなりません。高齢者でなくても大変過酷な作業です。

伊根町農村RMO推進会議は、その問題を解決する一助になればとの思いから、伊根町内の水

産会社である蒲入水産株式会社に申し入れと意見を求めました。蒲入水産株式会社の就業時間は、働き方改革により午前4時～午後1時30分であることから、その後の時間を利用して農業（草刈り）の手伝い（有償）を実証的にできないか、また、農業者は冬場のへしこ漬けを手伝う旨を伝えたと、地域貢献の一環として快諾いただきました。

蒲入水産株式会社には現在7名の若者（20代～30代）が在籍しており、全員から手伝っても良いとの回答をいただきました。本業に支障のない程度で毎日少量の作業をお願いすること、また、使用する機械類はラジコン草刈り機や田んぼの畦や法面のような傾斜地に特化した自走式草刈り機（スパイダーモア）などとして、令和7年秋に草刈り研修会を開催しました。草刈りの申し込みはグループLINEを開設して農村RMO推進会議がとりまとめ、作業先を指定することとしています。

令和8年度は本格始動となり、6月半ばから就業時間後の午後2時ごろから3時間程度を目途に、暑い中、協力いただいています。

まだ始まったばかりですが、農作業を委託することで農家さんは体調面を考慮でき、若者は空き時間で賃金を得ることができるとともに、水産業者と農業者の人手の融通であり、町内の人材で完結できることがさらに素晴らしいことだと思います。



【研修会の様子】



【作業の様子】

広報編集委員

■ 委員長	■ 委員長	■ 副委員長	■ 委員
松山 義宗	長谷川 貴之	山根 朝子	濱野 茂樹

編集後記

青田波が美しい季節を迎え、自然の豊かさに心癒されます。一方で、地球温暖化の影響による水不足や台風など、異常気象への心配も尽きません。

過日行われた伊根町消防団夏季訓練では、団員の皆さんのきびきびとした動きに、日々の訓練の成果を感じました。いつも町内の安心・安全のためにご尽力いただきありがとうございます。大きな災害が起こらないことを祈るばかりです。

町民の皆様も熱中症にお気を付けて、どうぞご自愛ください。

